

子どもたちが安全に暮らせるまち

朝



登校時の見守り



登校
集団登校している地域もあります。



小学校



保育園・幼稚園



ひと声（あいさつ）運動

人々の社会的なつながりや信頼関係を構築することで、人々の協調行動が活発となり、社会の結束力・地域力を高めることができるという「ソーシャル・キャピタル」という考え方が近年注目されています。

地域住民がその場に応じた「ひと声」をかけることで、犯罪の強いまちづくりにつながると言われています。

また、子どもたちも大きな声であいさつする習慣をつけることにより、いざという時にも、大声が出せるための訓練になります。



昼

誘拐防止教室 不審者侵入対応訓練等



スクールサポーター、警察署担当者等が防犯教育を行っています。

乳幼児等が集う公園



幼児から目を離さずに！
また、危険な箇所や壊れた遊具を見つけたら、管理者に連絡しましょう。

まちのクリーンアップ

まちをきれいにすることは、環境汚染をくいとめる効果だけでなく、子どもたちを巻き込むことにより、非行防止や犯罪の発生抑制につながったり、地域住民とのコミュニケーションを深めるよい機会にもなります。

地域住民による
花壇等の整備

学校と地域が協力して、
子どもたちといっしょに
「ゴミ拾い」「落書き消し」



放課後～夕方・夜



下校の見守り



放課後は子どもの活動範囲が広がります。
なるべく幅広い時間帯・場所での見守り活動を！

下校

学年によって下校時間が違い、低学年だけ早めの下校時間になる曜日があります。

下校後に子どもたちが向かう場所は様々です。
○ 帰宅
○ 学校の「放課後子ども教室」
○ 習い事に直行 など・・・



きちんと鍵を開けて！

帰宅
家族がいる家に帰る子どもと、留守宅に帰り、留守番をする子どもがいます。



夕方の公園の見守り活動



自主ボランティアによる 夜間パトロール

防犯ブザーやホイッスルを忘れずに！



塾や習い事の帰りなどで、暗くなってから帰宅する子どもたち
保護者の送迎がある場合と、子どもだけで自転車などで帰宅する場合があります。